

水源禅師法話集 28

(2013年10月20日 東京法話会)

2014年11月27日

一乗会



水源禅師のクティの湖にいる水鳥

目次

水源禅師法話	1
七覚支一心のパロメーター.....	1
苦—宇宙的な仕組み—.....	2
真理に到達するには.....	3
法を持てば、この世が滅びても心配ない.....	5
談義の重要性.....	6
質疑応答	9
日常生活即禅.....	9
自分で自分の体を守る—電気風呂、仕事は無理せず70%で—.....	11
ヴィパッサナー（観）で体を治す.....	16
人を救う方法—「全ては愛の力を強烈に強くすること」—.....	19
色が変化していく数珠.....	23
瞑想合宿に適した場所について.....	24
慈悲の実践体験—生き物を育てる—.....	26
法を求めることで浄化される、無我と涅槃—虚空蔵菩薩の奥義—.....	27
ニミッタ、心は一つ.....	28
現代医学の問題点.....	30

水源禪師法話

七覚支¹—心のバロメーター—

去年パオに行って事務総長とかに説明したのですよ。もう驚愕していました。「日本では、2人に1人はニミッタ（丹光、禪相）が観えますよ」、「ワー！！」と。今回それ以上のことでしょう、ダーッといろいろ体験し始めて。それで今回、見てびっくりしたのは、日本は宝の山だと思った、いや、本当、本当。

だから、その中で私が体験したうえで経典を読んだら、やはり一般の人は、この経典は体験でしか読めない本だから、大乘と南伝の経典を読んだら、一番大切な「七覚支」[Enlightenment Seven Factors]。これが人生において、心のバロメーターになるからね。それは日本語でも書いてあるのだけれども、詳しく説明していないでしょう？ 何のことかわからないでしょう？ それでまた英語でも書いているけれども、結局、体験によって書かれているのは一つもないわけ。それで昨日、説明したわけだ。

第三（精進覚支）の「Energy」。日本語では「精進」。それでもうおかしくなってしまう。「元気、バイタリティー、健康体であるということが必要だ」と。結局、最も大切なことがちょっと日本では抜けているわけ。それをどういうふうに言うかと、「内で観る」、内の心でこう。それで「それをちょっと離れて遠くから観る」と。今度は「内と外と同時に観る」と。「内から観る」というのは「自分の心が元気かな？」と。「あ、元気だな！」と。今度、自分からちょっと離れて「元気の状態であるか」、心は外でも内でも全部、観えるから、関係ないわけ。それが「心は内だけ」と、それは違います。内も外もない。だから、自分をちょっとイメージして「元気だな、足も動いているし」というふうに見て、今度は内と外とを同時に、それを観ると。中の心と外と観たのが一致したときに「同時に観る」ということ。これがヴェーダナヌパサナー（受随観、ゴエンカ系）の方式で「外、中、同時に観る」と。体験すれば分かるけれども、その体験のさせ方があるわけです。

ところが、ゴエンカさんのところでは説明しないみたいです。ヴェーダナヌパサナーの、その手法の真ん中だけだから。「七覚支」は非常に大切だということは私の体験から分かっているから、説明しているのです。これを外してしまえば、どこに吹っ飛んでいるか分からないわけ。びっくりしたのは「なんで日本で今まで誰も説明してあげないのか」と。大乘の人は分からないのは仕方ない。南伝の人は『サティパターンナ』、これは頭にたたき込んで必修なわけ。ビルマであろうが、タイであろうが。その中の手法は違っても、基本の「七覚支」は大変、重要なポイントであるということ。今まで誰一人として説明しなかったことに対して驚愕しています。このバロメーターがなければ、いくら人の話を聞いて頭に突っ込んでも、どこに自分の状態があるか分からないから、瞑想ができにくいわけなのです。それで「私ダ

¹ 七覚・七覚支・七菩提分ともいう。さとりを得るために必要な七種の修行項目。念覚支、扱法（ちやくほう）覚支、精進覚支、喜覚支、軽安（きょうあん）覚支、定覚支、捨覚支。

メなのかしら」とか。「あ、今日は調子うまくいった」とか。ここをやはり自分で、そういうゲージね、メモリー、「どこにいるか」と持っていて、ずうっといけば、瞑想できる、できない、関係なく大丈夫。

【参加者】

普段から、その「七覚支」を心に留めておいて、例えば「自分は今日は楽しさが少ないな」とか「定が少ないな」とか、分かりますよね。しかし、例えば「Energy」だったら、休めばよいかもしれないですけれども、気持ちの「Energy」というか、「楽」とか「捨」、それに関しては、自分ではちょっとコントロールはできないですよね？

【水源師】

瞑想すれば静かに呼吸を観ていけば、ならないのがおかしいわけ。ならないときはすごく怒りが発生したり、病気になったり、まだそれをやる状態ではないわけ。その状態をやるときにたくさん歩いてみたり、絵を描いてみたり、その静まった状態に持って行って、ちょっとやったら、そこに静かに呼吸を観るところに入っていくから。お釈迦様が残してくれた、このゲージ、どういうふうに見るか、これだけ持っていけば、もうほとんど大丈夫。

苦—宇宙的な仕組み—

ある状況において仕方なしに生まれ落ちたり、すごく善い環境なのに法を得ることができない環境にある、ということでもとても心配しています。日本の精神界、そこが崩れたら総崩れになるわけ。こうして皆さんが頑張ってくれているので、とても有り難いけれども、やはり精神界が取られたら、もう大変なことになります。お金の問題ではないしね。いつもこの手法で多分、過去一万年この繰り返しだと思う。五千年ではなく、ずうっと歴史的に見て。

それで他の国。ライオンが獲物を食べていくみたい。国もまた一つの生き物ですからね、国自体が。だから、一番面白いのは、国々を見たら大体、性格が分かるわけ。ロシアはシロクマといってホワイトベア。イギリスはライオンと角一本出すユニコーン、知恵と力。アメリカはオリーブと矢、ホワイトイーグル、獲って食べると。インドは孔雀なのですね。日本の象徴は桜ですか（笑）。ヨーロッパの方は双頭の鷲とか、ドイツ、激しいけれど。その国の動物の象徴は何かによって、不思議なことに何か言い表しているような感じですね。

だから結局、生態系を見たら、シマウマとか鹿とかたくさんいるけれども、トップになれば、ライオンは少なく獲って食べると。自然界と人間界も、こういうふうに見たら、何か似ているような感じで、そういうことを細かく考えていけば、避けられないという宇宙的な仕組みの中で、これをお釈迦様が「苦、ドゥッカ」。一つではない 25 のドゥッカ（苦）があって。この前の伊豆大島、カラミティ（災難）と言って、一瞬にしてボーンと来るでしょう。

それから、この前のシリア戦争が暴発したら、どうしてもご破算にすると、アメリカは死ぬか生きるかのところで、あの毒ガス法案はイランがアメリカに出したのですね。シリアに Inspector を入れると。ロシアが交渉してアメリカが手を打って、今はイランとアメリカが

急速に近づいているわけ。今度、サウジアラビアがものすごく頭に来ているわけ。サウジアラビアがアメリカに 160 兆円貸し付けているから。でも、アメリカは返す力はないと思う。だから、サウジアラビアの王様はデルタフォースと言って、最強の部隊が王様の宮殿を守っている。というより人質にしているわけ。コンキスタドール（征服者）がインカ帝国に入って王様を人質にしたでしょう？ それと一緒に。

真理に到達するには

そういうこともわきまえて「いかにして生きるか」ということを、この前の合宿で。それは「どんなことがあっても、法を持てば全然、心配はない」と。その法を持つには簡単なことではあるけれども、ただ「世俗的な考えではそれがかめない」ということを何回も何回も言ったわけですね。「世俗的な考え」と言うのは、世間で決めた常識とか、世間で決めた考え方。だから、残念ながら人間が作り上げたものでは、ほとんどは無明。だから、結果的には破壊してしまう。ところが、一般の人は、それがもう最高の真理であると教えられてきているものだから、それでもって本当の真理を理解するところに無理があるわけ。

では「どういうふうにして本当の真理に到達できるか」と。まず、お釈迦様は頭をからっぽにする方法を教えた。それはアナパナサティ（入出息念）。結局「吸う、吐く」「吸う、吐く」を心で観るアナパナサティと。昨日もちょっとお話ししましたがけれど、三十二身分法。それをやればチャクラの動きから全部、観えるわけなのですよ、深いく深いく急速にやっっていけば。それだけやっっていっても相当なところに行ってしまう。というのは、実際の体を純粹に観ていくから、全てが光になり始めるから。それどころか究極の世界にまで到達してしまいますからね。だから、ナランダ大学では三十二身分法を徹底的にやらせたい。それでチャクラが観えるものだから、動きとかエネルギー。

それが現代のインドでは「チャクラ、チャクラ」と言っているのだけれども、それも「法を得るための方便」であって、一番大切な「法を得る」ということは「何が大切であるか」と。お釈迦様は法を求めて自分の命を火に投げ入れようと、「入れたら教えてくれる」と言うから、実際にやったわけね。そのときの回答が「人のために尽くしなさい」ということでしょう。誰でも分かっているけれども、これに身を投じて理解できるという、理解するところが、無量遠劫の時空を経てここまで来たわけですね。それも途中、大体「東海道五十三」の聖者のところに聞きに行くわけ¹。「何が法か、何か法か」と。東海道五十三次はそこから来ているわけなのです。

結局、お釈迦様が体で悟ったことは「世俗的な知識がどうしても無明に入っていく」と。「無明を持ち続ければ、最終的には阿鼻地獄、無間地獄に入る」と。無間地獄というのは、宇宙が滅びて、この宇宙が滅びて、また他の宇宙もいっぱいあるわけです。10 兆の宇宙体があると。だから、この宇宙で滅んでも、すぐに他の宇宙に吹っ飛んで、そこでまた再生しますから。それで、この間に落ちていくと、無明は宇宙と宇宙の間にある。なぜそこが無明

¹ 『華嚴経』「入法界品」では、善財童子が発心して五十三人の善知識を求めて歴訪する。

空間になるかと言ったら、私たちのこの宇宙があるでしょう？これがカルナー、メッタ・カルナー、慈悲そのもの。だから、その宇宙に近づくには、先ほど皆さんとご一緒にお祈りした『Karaṇīya metta sutta (カラニーヤ・メッタ・スッタ)』、メッタ・愛。私が受け取った法は「人のために尽くしなさい」「愛の中で生きなさい」ということです。

だから、それにどういうふうに通達していくかが今、私たちの過程で、いろいろ『清浄道論』とか、禅法のチッタヌパサナー（心随観、禅・念仏系）とか、パオで教えているダンマヌパサナー（法随観、パオ系）とか、身法の体の方のマハシ、カヤヌパサナー（身随観、マハシ系）とか、それから感受の受法のヴェーナヌパサナー（受随観、ゴエンカ系）。そういうふうに通達する四つの法門を教えてください。「身受心法」。この四つのゲートの中で、どういうふうに通達していけばよいかと。先生が24時間付きっきりで教えるわけではないし、誰も教えてくれないしね。

その指針が、やはりバロメーター、ゲージが「七覚支」ということを昨日、説明しましたね。「あれでやってください」と。そういうことを私の体験で経典を読んだときに「あ、ここだ。」ということが分かる。私もそのとおりで通達した。それで、パオ語の経典と日本の経典、どちらもあるのだけれども、読み比べてみたら日本語によく解説されていないわけですね。いまだにすごい南伝の行者が一つもここを解説していないわけ。解説して、それを通達している文献を読んだけれども、ただ体験がないものだから、ごちゃ混ぜになるから、ますます混乱して、ポイントが外れるから、あるにはあるけれども、誰も読んでいないような感じ。今まで誰もここを質問した人がいないし。

それでもって、何回もスマナサーラさんには（名前を出して）悪いのだけれども。なぜかと言ったら、彼が日本で相当、名を売っているもので、他の方（かた）の文献をあまり読んでいないのだけれども、私が「彼は体験もなしにこういうことを言ったら、大変なことになる」と。彼自身では「私の解釈では」と言っているわけ、「体験による」と。なぜかと言ったら、彼の本をちょっと見たのですね。『ブッダの実践心理学』とか、アビダルマ、彼は体験していないで書いているのですって。ところが、皆さんは体験して書いていると思っている。ここがまたおかしいことで、南伝で体験した人がいれば、すぐ一発に「これは体験していない。おかしい」と言わなければいけないのに。「音には重さ、硬さ、地のエネルギーがある」と、ここでおかしいのがすぐに分かるわけ。「地のエネルギー」、これは地水火風の一過程で発生する、両方でこれが理解できるわけ。

つまり、先生がAの問題を出して答えをパンと書く、回答OKと。けれども、大学では退学させられる、「お前カンニングした」と。なぜなら、その間の過程ゼロで回答だけOKだったら、これ退学ものでしょう？それを彼がやっているわけ。これを誰も言わないことに驚き！！というか、やはりここでちゃんと教えてあげなければと。行をした人間だったら、すぐに分かってしまう。ここを通達するときに「あ、これカンニングしている」と。ということは、経典から経典を教えて、体験・フィールドリサーチなく。博士号を取るには、必ずフィールドリサーチ。そうでしょう？修士号でもそうですね？本で、文献でやって「はい」と言ったら、怒られちゃう！「お前、盗作した」って。これが日本では、まかり通るわけ。これに対して「誰も言わない」ということに対して、私は非常な危機感を抱いたわけです。

法を持てば、この世が減びても心配ない

先ほど言ったように「国々はそれぞれ性格があります」と。特にイングランドは知恵と力、ライオンとユニコーン、他の国は食べられちゃう(笑)、ま、イギリスには悪いのだけれども。実際そうやっているのだけれども、「ディバイド・アンド・コンカー」(divide and conquer : 分割統治〈分裂させて征服せよ〉)と言って、必ずケンカさせて。なぜなら、アメリカには6000万のインディアンがあったけれども、白人が100人で攻め取るわけにいかないでしょう？ 部族と部族とケンカさせて、兵器をどっちにも与えて壊滅。誰もいなくなったから、自分が入り込むと。これは現代に起こった歴史であって、こういうことを、この地球上では、私たちはずうっと過去無量の時間から、永遠に続けているみたいですね。

だから、「ノアの方舟」と聖書に書いてあるけれども、やはりその出来事は『ニップール・タブレット』(『Nippur tablet』)、バグダッドの南で発見された5000年の粘土に書かれた古文書に、やはりその中に「その出来事は43万2千年前に起こりました」と。ヘロドトス(紀元前485年頃-紀元前420年頃)というギリシャの最高の歴史家がエジプトに訪れたときに、エジプトのお坊さんと会話したときに「私の王国は2回太陽が西から上がり、2回東から上がっています」という非常に歴史的な文献を持っているわけです。今から1400年あたりです。アレキサンドリア・ライブラリー(アレクサンドリア図書館)と言って、そのすごい文献が全て焼き尽くされたわけね。その最も重要な文献を誰かが取って、後は全部焼き尽くしたと。そうしたら、彼だけが知識を持って、世界制覇をずうっとできると、ユニコーン・パワー。

という中で、お釈迦様は「これは避けられない」と。毒蜘蛛もいるでしょう？ 毒蜘蛛を薬蜘蛛に変えることができないから、この現実でこれをどういうふうに対処したらよいかと。毒ヘビを毒ヘビの性格を変えることができないわけ。毒ヘビは毒を持って殺して食べなければいけないから。「これは悪い」と言っても、そうでなければ生きられないわけ。

だから、そういう中でお釈迦様は何を言ったかといったら「法を持ちなさい」と。「法を持てば、この世がたとえ破壊しても心配ないです」と。天界から髪を乱した天神が地上に降りてきて、顔が真っ黒い、どす黒い灰色で、涙を流して「世の終わりが来る」と。天神と言うのはUF0か何か分からないけれども、「それから10万年後には、この地球の水が全て干上がる」と。お釈迦様の言葉。そして「第2の太陽が上がる」と。「昼も夜もなくなってしまう」と。そのとき「その地上には指の間の一滴の霧もない」と。また「第三の太陽が上がってきます」と。「第六のときには大地がもう溶け始める」と。「第七の太陽が上がるときには、爆発してガスみたいに全て消えてしまう」と、お釈迦様は言っています。

というふうに、宇宙の法則でドゥッカ(苦)は避けられないわけ。ところが、先ほど言った「法を持てば、全ての生命体は、この地球から他の宇宙体に飛んでしまう」わけなのです。飛んだときに法を持てば、自動的に善い処に行ってしまう。また、地獄界もダダダダーッと壊れていくわけ。そのときに、そこから全部上がってしまう。悪いようだけれども、今度、ご破算に願いまして、が始まるわけ。ご破算。ただ第八地獄の無間地獄(阿鼻地獄)に堕ちた場合には、永遠にその業火、中劫¹という数字で書くこともできない時間帯にいななければい

¹ 劫の時間は経典によって相違があり不明瞭であるため、現在、誰も明快に回答していない。

けないと。なぜかといったら、第六地獄（焦熱地獄、炎熱地獄）は5京3000兆年という時間帯と書いているわけなのです。だから「人に尽くして、正直に、真面目に」生きていけば、私が何回も言うように「間違いないです」と。

談義の重要性

【参加者】

お釈迦様が生まれてから10万年後にそうなるということですか？

【水源師】

まだ、まだ、あと2500年は大丈夫。今中間で、あと2500年になったら、滅法の時代に入って、こういう話も一切、消えてしまうみたいです。今でもうこうして法を学ぼうと、本当の法を学ぼうとして、滅多に法に出遇えないでしょう？世界の文献を読んでください。私がただ一人、正しいというわけではないけれども、これは私が体験したお釈迦様の話をただかいつまんで碎いて言っているだけであって、「こういうふう to 実際の法はこうなります」ということを、「音の質量」のことについても、明確に誰も解析していないし、間違っていると誰も指摘していないでしょう？これが日本は世界最高の仏教学の国なのです。スリランカとか問題にならない。インド哲学とって、これでこういう事態が発生してしまう。

そうではなくても、ただ只管打坐で坐っても、それは善いです。一切、通ってしまうから。昨日、三十二身分法の「なぜそうしなければいけないか」ということを説明したでしょう？ガラクタばかりで。なぜガラクタかと言えば、ちょうどインフォメーション（情報）が無知だから、ちょうどウンコの状態になると。だから、お釈迦様は失礼だけど、最後は頭脳とウンコをくっ付けているわけ。だから「世俗の真理と永遠なる叡智の真理とは違う」わけなのです。

だから、インドはどんなことがあっても、ヒンズー教は変えないでいる、仏教なのです、仏教。ヒンズー教は八つの法に分かれているのです。最高がシャンカラチャリア、何とかと、最後がそれです。それがヒンズーの最高峰なのです。『清浄道論』で言う本当のサンカラね。どうしてそういうことになるかと言えば、ジャーナ（禅定）に入って何時間でも坐れるわけ。瞑想に入って、そういうジャーナに入った人が滅多に出ないわけ。

ところが、お釈迦様の仏法は他でも何でも40瞑想法で、どんどんジャーナに入れる方法を持っているわけ。結局、イスラームが来て全部それが殺されて、地下にもぐって八つの法門にインドで分かれて、それがヒンズー教となっているけれども、それがごちゃごちゃになっているから、はっきり分からないわけ。インドの究極の教えはここにあります。日本で言う真言で教える虚空蔵菩薩の中が一体化しているわけ。それがどういうふう to 一体化しているかと言ったら、これは体験によってしか分からないエリアにあるわけ。だから、ヒンズーをバーッとやっていけば、ここに突き当たるから、仏教の体験なくしてヒンズーはできないようになっている。ということはまだ言われていない！！

西洋の一神教の教えも全ては「トーラ」(Torah)、ユダヤ教から分かれてキリスト教でしよ

う？ それから、その後、ムハンマドがメッカで教えを説いたのはセント・ガブリエル (St. Gabriel)。そのときのメッカはキリスト教の聖地でもあり、ユダヤ教の聖地でもあり、そしてまたエジプトのパガン (邪教) の教えの聖地でもあるわけですね。

だから、10年か20年前、サルマン・ラシュディというイスラームの学者が『The Satanic Verses』(『悪魔の詩』) という本を書きましたね。あれは神が「私の3人の娘はどこにいるのか」と、ムハンマドに言ったと。そして、セント・ガブリエルが「なんでそんなことを言うのか？」と。「いや、実はサタンが私の舌に入って言わせました」と。イスラームではたった一人の神でしょう？ それが3人の娘さんがいるわけ。なぜ3人の娘かと言ったら、そのメッカでは3人の女神がとても大切な神で、そのブラックストーンのお寺の中には柱三つ。だーれも言わない！ ここが私の驚きなわけなのです。私は在家の毛が生えたような、ちょっとおかしなお坊さんかもしれないけれども (笑)、「なぜ誰も説明しないのか」と。

それで、みんな戦争して食いちぎり合っているわけ、無明。このことをお釈迦様が言ったわけ。お釈迦様いわく「旦那、夫、子ども、社会、絶対そんなもの何もない」と言っている。「それは因縁によってでき上がったことで、そこに執着してはいけませんよ」と。だから「すべてを愛しなさい」と。ということが法であって、そういう観点で、先ほど言った『カラニーヤ・メッタ・スッタ』(『慈経』) を読みながら瞑想していけば、どんどんどんどん進化していくし、それによって、結果的にはあなた方が周りの人をどんどん導いていって助けるわけ。ということを経験で学んだことを今、報告させていただいているわけですね。

ただ今、世界をリードするのは私の体験上、仏教しかないですね。カトリックの総本山のバチカンのお坊さんが私を訪ねてきて「仏教の真髄は何かと教えてくれ」と。これはもう30年前に来て、いろいろとお話を聞いて、彼は勇気があるわけ。バチカンの中核にいるお坊さんだから、位が低くても相当な方なのですよ。それでまた、カトリック大学を教えている司教も徹底的にカトリックの問題点とか、宗教上のことを話し合うわけ。「全ては人を救いたい」という願いがあるから。だから、こういう方々が、たとえ間違った教えの中でも、「人を救いたい」という愛の力で、また善い人間界に生まれるわけなのですね。だから「人のために尽くし、愛の中で生きてください」という法を、私は今から4代前のカクサンダ仏陀 (拘楼孫仏) のときに頂いたお言葉なのです。

だから、ここまで言わなければ、みんな本に酔いしれて、酒に酔う方がまだよろしいということ (笑)。完全に気をおかしくさせられてしまう。だから1930年代に「麻薬は素晴らしいもので、健康のもとである」と、「飲みなさい」と。「お酒は一滴でもダメ」と。いつでも驚愕することをやっているわけ。それはどっちもダメだけれどもね (笑)。今は本にものすごく酔いしれてしまっていますね。

南伝のスマナサーラ著『ブッダの実践心理学』をちょっとパラパラッとめくってみたら、現代哲学と科学を混同してゴチャゴチャにして、さもなりなんと分かりやすいように言っているけれども、真理からは外れています。実際の教えは結局、虎の巻を見てボンボン回答したレポートだから、大学では退学。それを有り難く読むという現状。大学の先生がいるから分かりますよ。「そうです、退学させる」って、カンニングだから。そのカンニングペーパーを見て、皆さんは一生懸命、勉強しているわけ。だから、私が心配しているのは、やはり京

都の方でも、少しでもお坊さん方に言いたいわけなのです。ちょっとでもメッセージを与えたいと。この方々が、あちこち檀家さんがいて言うでしょう？ もう言う本人たちが現状、見て忙しくてあきらめているわけ。そうですね、またこの本を読んだら「物質はエネルギー、ルーパ、名色、心のハダヤ」それ以上、何も説明していない、カンニング。そこを通過した人間はすぐ分かるわけ、何を言っているか。この回答では大学退学なのです。特に彼は大学の先生でこんなことしてしまうから（笑）。「仏教界どうしましょう？」となる。これを反論できる人間が、いまだに誰も出ていないという、南伝にしろ、北伝にしろ、黙一って。「黙ればみんな悟り」と、本当はそれでは済まないのです。

だから、談義ということが必要なのです、談義。チベット仏教の最高の博士号はラサでやるのだけれども、そこの試験を受けるときに、チベットからインドのダルマサーラに私がお坊さんを連れて行って、直接ダライ・ラマと談義するわけ、法について。そのときに「お前は分かった」というときに認可されるのが、チベット仏教の最高の博士号であると。試験を受けるわけです。28歳だったけれども、まあ、心は絹のようにサラサラサラサラと、やはり進化していました、そういう方たちは。

だから、私が今回の合宿で驚いたのは「やー、日本は宝の山だ」と。たった4日間でワーッとなくなってくるから。だから、皆さんは心配しないで、先ほど言った「七覚支」ですね、あれをバロメーターにして、あとは、本は（読んでもよいですが）本当だとは思わないで検証して、瞑想が回答してくれますから。そして、法にしっかり出遇えば体も治ってしまう。ところが「間違った法を教えられて、それが真理だ」と信じ込む場合は、病気が発生します。という法には無量の力があります。



水源禅師のクティの湖

質疑応答

日常生活即禅

【参加者】

昨日の法話会も来たかったですけれども、仕事で棚卸しがあって、どうしても来られなかったのですよ。やはり最近仕事、仕事で、家に帰っても仕事のことを考えてしまったり、11月に泊まり込みの出張があったりとかで、自分がこうしたいという生き方と違う方向に進んでいって、仕事が生生活の中心になっていて、どうしても仏教を学んだり、瞑想に親しむという方向に行きたいのだけれども、なかなかそうもいかないな、というのが現状で、どうしたらよいのかと。

【水源師】

法はどこにでも満ち満ちているわけなのです。会社の中にも法があるわけです。なぜかといったら、昨日ちょっと説明したけれども、お茶会の時だったか、そのときに、会社で働いていたら、自分だけがいじめられているように、うまくいかないときがあるのですよ、ダーッと。そこを耐えたらね、今度ずーっとうまくいくわけ。そういう波が、周期が来るわけ。こういう因果関係があるわけなのです。だから、確かに会社で忙しいけれども、その中で因果関係を見るように、ちょっと離れれば、仕事もまた禅。「日常生活即禅」、というふうに、確かに静かな時間を持って坐ると。実は、これはもう超贅沢なのです。

ドイツの方が二人、スリランカで30年、森の中で暮らしていると。素晴らしいと。「どういう法を説きましたか？」と(言う)、いろいろなお経を説明して、こうして素晴らしい！」と、言えないわけ。「何と本当の法を受けたか」と。本人たちは30年間、まあ素晴らしい生活をしたわけですよ。私たちは社会に住んだら、税金を払わなければいけないでしょう？ それから、家のローンを払わなければいけないでしょう？ それから電気代、ガス代。もう借金とか支払い、支払いで、いつも頭が痛いわけ。そこが正論なのです。

私が瞑想したときに考えなくてもよいわけ。一切お金に触れなくてよいし、「アー、こりゃ天国だ」と。それで食事はちゃんと来るしね。特に素晴らしい名のあるところは食べ物すごいのですよ。本当にすぐに糖尿病になってしまう。ホント、ホント！ だから、南方のお坊さんは糖尿病が多いのですよ。そこでは「いかに食べないか」と。半分くらいに減らすとか。そうでなければ、あの生活したら、すぐ糖尿病になってしまう。お布施するのが最大の福をもらうことになるからね。そういう素晴らしい瞑想センターだったら「財産を与えても最高のものをお布施したい」と。お布施したところによって「もう来世、間違いない」と(笑)。確かにそういう高德もあるわけなのです。法を取って守っているからね。

だから、スリランカでは、キャンディにあるお釈迦様の仏牙舍利¹のお寺に一日でもお布施できたら、超ラッキーになるわけです。なぜなら、365人しかお布施できないわけ。そして、お寺には5000人のお坊さんがいるのです。そして最高のものを与えるらしいです。「お釈迦様に与えたと一緒にしたことだ」ということみたい。宝くじより当たる確率が少ないみたいだから。365日である中で2000万人、3000万人ですか？ そういうことよりも「日常生活即禅」と、法を持った場合にはそれ以上ですから。あまり心配しないでください。

だから「体を動かす、使う」、この中にも法があるわけなのです。森の中で30年間、一切、税金も払うこともないしね。いいのではないですか(笑)？ おいしいもの！ 経典は読める、天国なのです。そう思いませんか？ 独身だし家族の心配もないし、結婚もないし。皆さんが思っている苦行の生活の逆なのです。実はそれほどよい生活ができるわけ。あるお坊さんがスリランカのすごいお寺で「相当行も進んでいるのでしょうか？」、「いや、6年間お経だけ読んでいた」。あらまあ、これどういうことなのかと。なぜなら、人の大切なご馳走をすごく受けているのでしょうか？

だから「貪り食わないように」と、ちゃんとお釈迦様が言っているのに。その本だって、経典だって、図書館に入ったら、すごいよい本があって、それを読んで暮らしたら、毎日毎日、楽しいですよ。私にとってはね、そういうことを知りたいからです。でも、それは体験のない知識だから、結局、無明になって大変なことになります。

だから、皆さんの方が苦勞して生活の中で一つでも体験から「法を得る」ということは、これは宇宙的なことなのです、それが見えないのだけれども。だから、私の20世前の私の時空では、私は法に遇えなくて一生探し求めて、木の下でこういう衣を着て死んでいったわけ。それだけ難しいことなのです。だから、法さえ持てば、この地球が破壊しようと、問題ないことなのです。お釈迦様が言っている、「最後には七つの太陽があって、煙のごとく全てが消滅し尽くす」と。それによってご破算に願ひまして、第七地獄(大焦熱地獄、大炎熱地獄)も全部、出てこられるから。ご破算。だから、皆さん今、経済で心配しているけれども、これも最後にご破算が来るのも時間の問題だけれども、これによって、また新しいご破算からゲームが始まるわけ(笑)。そのときに問題なのは「法をしっかりと留めているかどうか」ということ。そうでなければピューンと落ちてしまうから。

それで、お釈迦様が因縁を動かす法則の力は「無明」と「執着」。でも、この「無明」が最も大敵なのです。なぜなら、私が「法を知りたい知りたい」という執着心がなければ、法に出遇えなかったから。

ところが、私が「天女のようにすごい最高の女性に会いたい会いたい」と言ったら、地獄の底でしょうね(笑)？ ヤーマ(夜摩天)と言っていますね。そこの違いですよ、そこの違い。取り違えてしまったら大変なことになると。それが取り違っていないように、また実に

¹ 釈尊の四牙のことで、三十二相の四牙白淨(牙白)相などに説かれている。パーリ長部『大般涅槃經』の最後には「一つの歯は三十三天で供養され、また一つの歯はガンダーラ市で供養される。また一つの歯はカリンガ王の国において供養される。また一つの歯を諸々の竜王が供養している」とあり、「カリンガ王の国において供養される」と言われるものが、キャンディの仏牙舍利と考えられる。

巧妙に仕掛けてあるわけ。そうでなければ、この世の中が動かないから。だから第六天、他化自在天。他化自在天では想像を絶するようすすごい快樂を得られると。その王様はその快樂をちゃんと自分でしないで受け取るわけ。特に最高の快樂は、修行する方とかお坊さんとかがその快樂を得たときに、他化自在天の最高の天魔波旬（第六天魔王波旬）という方が吸い取ります、それが最高の快樂であると。というふうに大天界でも魔が仕切っているわけでしょう？ 夜摩天も地獄の王様が住んでいるわけでしょう？

だから、現代のこの仕組みも、何とかすごい恐ろしいのがアメリカにいるみたいで、ボヘミアンクラブだか何だか、全ての大統領がそこに行くからね。だから、そういうところから畏にはまらないのは、実に簡単！「愛の中で生きれば心配ない」、『メッタ・スッタ』（『慈經』）そういう慈悲の中にいれば、天界の無量の仏々がちゃんと見守って守護してくれます。

なぜかといったら、私が宝生仏¹（南方仏、南伝仏教では釈迦牟尼仏）を「なぜ観たのかな」と。南伝ではそれを否定するわけね。そうしたら不思議なことに、ゲリラ豪雨というのが、私の家の上に、雨は動きながら去るのに、ポカーッと来て、動かずにダーッと落とすわけ。たった15分、ダ、ダ、ダ、ダ、ダーッと。場所は山のでっぺんのような一番高台にあるのに、水が落ちていかない。地下水が上がって「アラこれは大変だ」と（半地下ですから、一尺くらい水が上がったけれども）。そうしたら保険屋さんが来て「アー、綺麗にします、片付けます」と。そして、ちゃんとお金もどっさり落ちてきたから、今度、家も修理して、今度、瞑想センターができるわけ。「あ、なるほど、宝生仏様が教えてくれたんだ！」と、現実の問題でこうなるわけ。私の体験で実際そうなるのだから。それで、やはり北伝の影響を受けた方は無量の仏を観てしまいますね。私も観ました、それもパオセンターで。第一禅定に入る前に、全宇宙の仏が出てきて喜ぶのですね。分かるわけなのですよ。その仏の掌の中にあるから。だから、先ほどから「法を持ってください」と言っているわけですが、心配ないですって。

自分で自分の体を守る—電気風呂、仕事は無理せず70%で—

【参加者】

仕事のストレスがよく分からないですけれども、ずっと何か体の調子が悪くて、8月から入院したりして、最近は肩こりがひどくて、昔なった関節症にまたなって、顎（あご）が開くと痛いのです。肩の凝りがひどいので、ストレッチとかマッサージとか自分でするのですが、よくなりなくて、どうすればよいのだろうか。

【水源師】

ストレス。社会のストレスで、会社のストレスから来た病気。だからまず電気風呂。近くの電気風呂があるところを探して、そこで一週間お風呂に浸かってください。そうしたら、顎が治ります。それから体の神経が固まったところも取れます。それから内部も全部マッサ

¹ 金剛界五智如来の一つで、宝生如来ともいう。南方の月輪に位置し、大日如来の平等性智の徳を司る。

ージされますからね。そのときに無理に座らなくてもよいです。ただゆっくり自然の中で、特に松林とか、空気のよいところを歩いてください。そうすれば、その生命体がすごい活力を与えてくれるから。それからゆっくりと呼吸して、今、言ったように、ほとんど世間のあなたに押し付けた情報とか仕事は全く無意味だけれども、真実とはかけ離れていると、そういうふうに見てください。ま、真面目に受け取らないように。受け取ったら病気になります。ちょっと生半可で怠けているみたいだけれど、そうではないです。まず自分の体があってこそ勉強もできるし、それから周りの人も豊かにできるけれども、間違っただけをそのまま信じていって、特攻隊みたいにボンとやって、結果的には何にもならないわけ、恰好はよいけれども。また囃（はや）し立てて「ヤレヤレヤレヤレ」と。「私は腑抜けだからちょっと」とか。「そこはゲームの中で遊ばされている」ということを分かって、適当に。難しいけれど、特に真面目な方は真面目だからね。

【参加者】

電気風呂とは？ バブルみたいな？

【水源師】

違います。電気がダーッと流れています。日本にありますよ。私はカナダで6カ月ぶつ続けで働いたら、ストレスはないのだけれども、体がストレスで起きて、寝ているときに痙攣（けいれん）を起こして、もう痛い、痛い。あれ、ドゥーッと気持ち悪いかもわからないけれど、あれがよいのですよ。そうしたら一週間以内にこれが治るから。あと病院に行っても、同じことやらせるから、電気治療です。

【参加者】

電気が悪いところに当たるとするじゃないですか。そのところがビリビリビリッとするから、そこが悪い状態ということが分かります。

【水源師】

恐れずに、行ったら若いから一週間で神経とか、そういうところもほとんど回復しちゃう。あとは真理の法で生きて行けば大丈夫です。

【参加者】

はい、分かりました。

【水源師】

社会がこういうふうは無駄な（無駄ではないけれども）、「本当のことではないのを本当である」と教えるゆえの毒をもらって、そうなっているから。

【参加者】

入院したのが、腸がねじれるみたいな病気で「原因が分からない」と言われました。

【水源師】

それは分からない、神経だもの。あれは痛いでしょう、腸捻転（ちょうねんてん）って。

【参加者】

無茶苦茶、痛かったです。激痛でした。

【水源師】

そりゃあ激痛です、分かりますよ、最高の痛み。ストレスです。だから単純に、これから本は読んでもよいけれども、素晴らしい詩とか、若いから愛の賛歌のような、そういうふうなメッタ（慈悲）の方に行くように。

【参加者】

はい、分かりました。

【参加者】

今の質問を聞いているとよく分かって、先生のおっしゃるのはよく分かるのですが、電気風呂に入るのはあくまでも対処療法で、根本がなくなる限りは、またどこかに障害が起きるのではないのでしょうか？

【水源師】

そう、だからさっき言ったように、まず治して、結局、瞑想法に入っていくと。さっき言ったように「本当の活力」「Energy」の状態です。今度、瞑想に入っていくと。そういうことです。

【参加者】

日本の多くの職場というのは、結構プレッシャーがすごいので、先生がおっしゃるのは分かるのですが、いざそういう職場に戻ると、またすぐに戻ってしまうような。

【水源師】

「そこをやるのは100%で走らないように」と。「何とか70%くらいで頑張ってもらおう」と。100%やるとすぐ戻るから。ところが何、会社としては、100%やったらすぐ病気はもっと悪いわけ。逆にこれはちょっと怠け者で、70%で毎日やっていたら、OKになるわけ。代理がないから休んでもらうと、本当に困る。もう会社は削って削って最小限で動かそうとしているからね。病気しないで100%はもうOKになるのだけれども、そうさせるのだけれども、なんとか怠けているわけではないでしょう？ 100%ではなく70%。90%はきつい。70%はなんとか合格範囲で（笑）、会社でも我慢できると。それで「あなたはあなたの体を守れ」と。これし

かないのですよ。分かりますよ。

逆に、カナダでも、もう若い頃、私の会社は入って6カ月したら、すぐストレスで病院。これでは何もできないと。その後は今度、緩めたけれどね。上司が怒られるからね。どんどん会社が回らないから。そういうふうに怠けようとしているのではないけれども、こうして余裕があれば、社会もうまく回るわけ。締めれば腸捻転で全部崩れるから。今の日本の状態で、締め上げ過ぎて。だから、何回も言うように「ちょっと緩めなさい」と言っているわけです。そうでなければ、本当に寿命が縮まって今度、電気風呂も入れないですよ。電気風呂に入るには心臓が弱かったらダメでしょう？ 心臓に来たらこれは大変です。そうでしょう？ 今、若いから、心臓はまだよさそうだから、すぐ治っちゃう（笑）。その後、せいぜいやって75点ぐらいで頑張るようにしてもらって、80点取らないように。80点恰好よいけれど（笑）。

【参加者】

今の仕事は今年いっぱい辞める予定なのですが。体が持たないので。

【水源師】

あ、そう。昔は、若い人はめったに死なないのだけれども、この頃カナダでも30代、40代で心臓発作を起こして死んでいます。ひどい場合になったら20代で。過労死というか心臓発作。原因は誰も分からない。でも、アフリカのある村に行ったら「ここには心臓病の人は誰もいない」と。ストレスないみたいです、今は分からないけれども。心臓というのは現代病で「アー、どうしよう！」と、ダ、ダ、ダ、ダ、ダーツとなるでしょう？ 髪が真っ白けになってしまう。だから、髪が真っ黒けはまだ素晴らしいことです。力があるけれどもね、これを繰り返したら20代で真っ白けになって、頭はげてしまうからね。そうしたら非常に危険な状態。

だから、私がいつも思ったのは「交通事故で年間3万人死ぬのに、誰も何も言わないのだから」と。私がいたときの昔は非常に多かったですよ、それくらいあった。私はその中枢を歩んでいたものだから、「車ほど危険なものはない」ということが分かるわけ。実はアンチ・カー主義なのです。みんな毒、毒、毒を組み合わせて車ができています。今日もちょっと電車に乗ったけれども、電車は毒の塊。ブレーキは石綿でしかできないわけ。だから、においがプンプンして、微粒子をみんなドンドン吸っているわけ。皆さんには絶対に何も言わない。だから医療の方はどんどん治すけれども、原因をつくるところは抑えないわけ。ま、医療は医療で回るから（笑）。

でも、本当のお医者さんとしては嫌でしょう？ 何でいくら治しても戻ってくるって。治らないはず、原因はここにある。それで、こういう知識は分断しているから分からない。やはり「ストレス」、これは現代病の原因。だから3カ月、日本の全国民に休暇を与えたら、一遍に病気が治ってしまう！ 3カ月、働いているときに自由学校で絵でも何でも書かせて、ダンスでもさせたら、老人病も吹っ飛ばすくらい元気になると思いますよ。そうしたら、今は「医療、医療」「介護、介護」と、そういう産業には悪いのですけれども、結局、税金を払わなくてもよいという方向なのだけれども、今はロボットまで使ってグーッと「いかに絞り上げよ

う」というか、その根本原因を無視して、何かもう「絞るだけ絞り上げよう」という「出てくる、まだオイルが出てくる」と、そんな感じですね。

結果的には何の意味もなく、これでは全部、破壊してしまう、このシステムは。かといって、緩めれば他からやられて一遍に破産だと。そんなことはないと思う。日本は豊かな国ですよ。セミ・トロピカル（準南国地帯）で、林もあれば草もあるし、どんどん出るでしょう？ あれ全部、食料。ペルーなんか、ほとんど何もないのよ。石ころだらけで、山の上に行けば、グリーンが少しあるくらいで。アメリカもそうなのです、メキシコも。もう世界が大体そんなもの。インドに行っても日中 50 度ですよ。昼に出ていたら、足が痙攣を起こし始める。冷たい水で痙攣と同じ。熱いか寒いか同じ現象を起こす。だから、ホテルの中でじーっと夜が来るのを待つしかない。

だから、南国の人は夜が大好きなわけ。みんな昼は寝ている。夜なったら起き出して一晩中、遊ぶわけ。「クール、クール」と、よく聞くでしょう？「涼しい、涼しい」って、それが最高の娯楽。娯楽がちょっと変わってしまう。最高の喜びは「Cool」「涼しみ」。日本に来てくれたら、いっぱいあるよ（笑）。だから、インドの高級車に乗ったら、ガンガン冷房で寒くて寒くて死にそうなのに、あちらの人はもう最高の快樂にいるみたいで。私はもう止めてほしいのだけれども、その高級車からは鍵かかって出られないしね。そうなのですよ、習慣によって全然、快樂が違うわけ（笑）。

よいですか？ すぐ治りますよ。治ったら、今度は、あまり地位名誉とか関係ないからね、地位名誉のある方々には悪いのだけれども。大切なのは「この体でいかにして法を持つか」、この体という素晴らしい宇宙の贈り物をあなたは持っているわけ。この発見ですね。莊嚴なるものを全て持っているわけ。これはこの地球が 1000、2000 であろうとも、それ以上のものを持っているわけ。お釈迦様は「もっとだ」と言われています。

「1000、2000」というのは、今ローマ法王になったフランシスコ会の大先生の「セント・フランシスコ・オブ・アッシジ」（アッシジのフランチェスコ）の言葉なのです。だから、今のローマ法王はフランシスコという名前でしょう？ 真っ先にセント・フランシスコ・オブ・アッシジのところに行って、お参りに行ったわけ。それで質素で生きなければいけないから、法王の宮殿に住まないのですよね。他のお坊さんとみんな一緒に同じアパートに住んでいるわけ。それで、この聖者は生まれ落ちたときに「天にまします、我らの神よ、私に命を与えてくれてありがとうございます」と、お釈迦様みたいなことをやっている。

つまり「愛」なのです。「愛の中に生きる」ということを発見した場合には、もう大丈夫。どんなことがあっても大丈夫。なぜなら人を愛しているのに殺さないでしょう？ 動物だって。「いかにして助けようということしかない」のではないですか。その中では、もう「自分というものはない」ですよ。「人が喜ぶのが私の喜び」だから。

だから、私が一番うれしいのは、何かよいメニューが見つかって、美味しい料理するわけですよ。そうしたら「おいしい、おいしい」と食べてくれるわけ。食べるのを見て、私がお腹がいっぱいになって、楽しくなるわけ。あれはすごくよい瞑想なのです。作るのに 4、5 時間かかるけれども、食べてくれる人はたった 10 分か 15 分だけれども、集中するから、時間がすぐ消えてしまう。それで人が喜んでくれるからね。「あ、これは奥さん業、やめられ

ないな」と思った。これだけ楽しいことしていたのだと（笑）。瞑想になりますね！

【参加者】

実際の奥さんたちは全然そう思っていないよ（笑）！

ヴィパッサナー（観）で体を治す

【参加者】

昨日、お茶会でお話しさせていただいて、ちょっと腰の方が悪いという話をして、腰をよくするようにと、そちらの方に意識を、エネルギーを持っていくみたいな。

【水源師】

スキャナーです。本当はヴェーダナヌパッサナー（受随観、ゴエンカ系）からやらなければいけないけれど、それはできないから、ゆったりして呼吸法でここにやっているでしょう？ その意識を深ーく瞑想したら、背骨とか全部、観えますから、ずっと横に張っている神経も。できなくても何回もやっってください、観えます。これがヴィパッサナー（観）の極意なのです。だから、ジャーナ（禅定）に入らなくても、内部が全部、観えるわけ。意識で、心の識で観るように。そうしたら、ずうっと映像が出てきます。

今、目をつぶってごらんください。そして心で、その場所に心眼を当ててください。観えるでしょう？「観える」というのは、この視覚ではないですよ。こうずうっと映像が出てくるでしょう？自分で追っていったら。そのことです、それを忘れないで。映画みたいに、これで見ると中を見る、そうではなく、こうやったときに心眼を当てて行って映像が出る。

「ヴィ」(vi)というのは内に秘めた眼で、「サナ」(sanā)瞑想をする。「ヴィ」(vi)というのは心眼のこと。これがヴィパッサナー (vi-passanā)。そこをずうっと何回もずうーと！！観てください。そうしたら、そこに自動的に慈悲の力が入っていくから。それでだんだん治っていきます。

お医者さんに「あなたは半身不随で絶対歩けません」と、今ぴんぴんして歩いています。それどころか、杖ついて世界旅行をしています。この人はそれを知らなくても「自分の意志力で治す、治す」と、そうなっていった。だから、それやれば、そこまでしなくても。

【参加者】

では「それを毎日、時間があつたら続けて」ということで？

【水源師】

24時間でなくても、時間があつたときにすうっと、風呂上りでもリラックスしたときに。

【参加者】

自然と腰椎なら腰椎が観えるとおっしゃったけれども、妄想も自然と出てきますよね。

【水源師】

その妄想か、それが、Bさんは妄想と言うように、内部を全部、知っているから。

【参加者】

いや、何でもそうなのですけれど、「自然と病気の場所のイメージとして出てきますから」と、先生がおっしゃったけれども、自分で観ようとしなくて、妄想も自然と出てくるものですよね、自分で観ようとしなくても。妄想なのか、きちんとした映像から来ているのか？

【水源師】

妄想というのは、観ようとしなくて出てきたことを「妄想」。観ようとして映像が出てきたときには「ヴィパッサナー」。

【参加者】

だけど「自分の力で観るのではなく、自然と映像が出てきますから」と、さっきおっしゃったので。

【水源師】

それは心で観ている。心の識で観ている。ところが、心の識で観ようとしなくて、入ってくるのが「妄想」。それは昨日、説明したように「過去のインフォメーション（情報）が出てきています」と。

なぜかといったら、この人はどうも頭がおかしくなっていると。なぜなら「太陽から男根が下がって風に揺れていると観えるのを、じーっと観ていた」と。これは完全におかしくなっていると。ところが、古代ペルシャの文献を調べて、その行法に「太陽からパイプが降りてきて風に揺れているように観なさい」と。それでフロイトがびっくりした。だから、そういうふうには人間には限界があるのです。その「妄想」とか「空想」。それは全て人間の知識内のインフォメーションで、それ以上は一つもない。

なぜかといったら、私がおの昔、科学小説が大好きで、もう全世界の小説を読み尽くして、新しいアイデアが出たら、もう嬉しいわけ。その後、何も出てこないのです。たまに一人二人、新しい作家がポチンポチンと。「あら、いくら自由自在に考えても、人間には限界があるのだな」と。それ以上の枠内でしかない。想像できないわけ。

ところが『法華経』を読んだら「ワー世界最高」と思っていた、このサイエンスフィクション（空想科学小説）が、何か幼稚園クラス。なぜかといったら、私がずうっと読んでいたものだから、桁外れなわけ。それで仏教のすごさというのが、そこから感じたね。「これはただ事ではない」と。ま、それを一大事というので（笑）。

それでやってみてください。非常に大切です。この手法は皆さん誰でもどこでも悪い所があったら、それで大体、挽回できますよ。だからヒーリングの力、皆さん持っていますよ。

【参加者】

私は大体、毎年1回くらいゴエンカ氏のところに行くのですけれども（でも進化はしていないのですけれども）、初めて行ったときの2日目にゴエンカ氏と一緒に、ものすごい偏頭痛が出てきて、左半分の顔から後頭部から首にかけて、すごい嫌いな感じが出てきて、とても変な感じで、とても苦しくて気持ち悪くていたたまれなくて「もう帰ろうか」と思うぐらい辛かったのですが、それをなんとか我慢して、ちょっと距離を置いて、じっと観ているのですね。第1回目のときは、全ては治らなかつたのですけれど、2回、3回とまた出なくなって、4回、5回と繰り返していくうちに、自然と、例えば凝り固まっているものが、だんだん皮をはぐようにというか、溶けるようにというか、それがだんだんだんだん小さくなっていくような感じで、最後はふっと消えていったのですね。

今、現時点は偏頭痛はないのですね。だから多分、先生がおっしゃるように、自分の体の悪いところを自分自身で治すというのは「ああ、こういうことなのだな」と体感しているので、私の場合はなかなか時間がかかりましたが、最初は悪い部分は鈍感な感じで、なかなか感じることも最初できませんでした。やっと感じられてと、時間がかかるかもしれませんが、必ずそういう方向に行くと思うので、試してみたらよろしいかと思います。

【水源師】

その原理は簡単なのですよ。ナーマ・ルーパ（心と体）。ナーマ＝心。ルーパ＝身体。結局「クサラ（善）・アクサラ（不善）」というのは「善心・不善心」と言うのだけれども、「善い心・悪い心」。「悪い」というのは、完全に理解していないから、完全に理解したときには、まんまるくクルツとなつてうまくいくわけ。これが「善心」というわけ。今まで皆さんは不完全な知識でルーパ¹（色）にくっ付いているから、身体がこんなことになってしまうわけ。これがクサラの真理で生きた場合には、自動的にルーパも善くなってしまうということ。実はそういうことなのです。だから、そのとこで「こう観る」というのは、今までのものを捨てて、クサラの心でずーっと観ればよいわけ。そうしたら消えます。

ほとんど本当の行者は病気しなくなってしまう。私は瞑想を深くしたら、食べられないですよ。心で物質・食糧をつくるからです。そこはあまり分かっていないと思いますよ。自分でそうしているのだけれども、観えないわけ。結局、ベールをかぶって観えないわけ。だからベールを外して、あるがままにずうっと心に随って、そういうところをやっていけば、ナーマ（名）とルーパ（色）が正常になって、ナーマの方が正しく見るから、ルーパがただくっ付いているだけだから、治っちゃう。

嫌なこと・悪いことたくさんしてごらんください。ルーパが崩れて必ず身体がおかしくなっていくから。人から物を盗んで健康な体で遊びまくれる人間は、この世には一人もいない。だから、麻薬のキングは必ずおかしいことになって、正常な方法で儲けていないから、人の命、金とか、全くよいことないから。だからイエスは「貧しきものは幸いなり」と。逆にたくさんグワーツとあつたら、それは毒、毒を食べるのと一緒だから。大変ですよ。私は金持

¹ rūpa : 変化する物質。

ちではないのだけれども、金がどんどんたまって、これはどうして使おうと、一生懸命、使う方に頭が痛いくらいで。金を置いても仕方ないからね。できるだけ「いかにして減らすか、減らすか」ばかり考えて（笑）。なければダメだけれども、そういうことです。

人を救う方法—「全ては愛の力を強烈に強くすること」—

【参加者】

今、日本で結構、若い人たちが、精神が病気で増えてきていると思うのですが、私の家族にもう一人、妹がいて、ちょっとうつ病でもう6年くらいなのですね。当初は発症した時点で全くベッドから起き上がれない、もう毎日、夜な夜な24時間、泣いて泣いて苦しんでいる状態で、それが1、2年くらい続いていて、結局、会社でいじめを受けたとか、そういうので転職して、また転職先でも同じようないじめを受けて、本人はそれをため込んでいたみたいで、それでだんだんいろいろな病院に行ってみたり、カウンセラーに行ってみたりとかしたのですけれども、結局やっぱり治らない状態で、今年に入ったくらいからやっと落ち着いてきて、今度は自我の方が強力になってしまって、もう誰の話も聞かないような、親の話も、私の話も、周りから「こうした方がいいよ」とか、助言というか、よい方向に導こうとしても、全部シャットアウトみたいな状態で、自分はそれだけの苦しみを受けて、それが少し緩和したら、今度は逆に自分よがりな人間になってきているのです。こういう変化というのが今あって、世の中の若い人たちを見てても、何かそんな感じにも見えるのですけれども。それをどういうふうに接していったら、心を変えたあげたらいいのかと。

【水源師】

結局、救う方法はこうなのです。言葉は無理です。「全ては愛の力を強烈に強くすること」。そうすれば、そのエネルギーでファーツとなるわけ。ファーツとなったときに、にっこり笑ったり。説き聞かせようとしても無理。というのは、もうここが無明の頭でいっぱいだから、無明が無明で言ったら、もっと爆発して「何、言っているのよ」となるから。

【参加者】

会話していても、もうすぐに妄想とかでしゃべっているとか、思考の状態がちょっとおかしいのが、すぐに見て取れるのですよ。

【水源師】

もうそこまでシャットアウトしてしまっているから、この世が大嫌いで、いつ死んでもよいという状態。だから、そこで「精神界の人が打って出て、強烈な愛のエネルギーを与える」ということが要求されているのだけれども、先ほども言ったように、こういうふうな経典仏教をやって、回答は100点だけれども、中身のないことをやったら、全部パーでしょう？これが今の状態。だから「正しく修行を一日も早くしてください」と。あなたがそれで満足してよいのかもしれないけれども、この病たるや、無明の世界がバーッと若い人たちに蔓延し

てしまうと、希望も何もなくなってしまうでしょう？ 今の若い人が本当の愛に触れたら、一遍に生き返ってしまう。絶対にこの愛を遮断してしまっているからね。「何が何だか分からない、何がどういうことなのか分からないし、もう結婚もしたくないし、何もしたくない」という最悪の事態に発展してしまっているから。

【参加者】

私が仏教を始めたときは、母親たちはすごく拒絶していて、オウム真理教の記憶がこびりついていたものですから、カルトやっているのではないかと、不審に思って私を攻撃してきたのですが、それから4,5年経って、今は母親と父親の考え方が全く逆になってきて、仏教の話素直に聞くようになってきている。それで「瞑想の仕方もうどうやってやるのか」と、母親も見よう見まねで、私に「じゃあ、ちょっと見せてくれ」とか「教えてくれ」とか言い出し始めてきたのですね。親の方からそういうのを教えていって、それから私の妹・親からしたら娘ですけれども、こう伝染していくというか、家族一体となって、今こう妹を愛で包んであげた方がよいのかな、というふうに思っているのですが。

【水源師】

そうです。心と心が本当のことに向かえば、結局、私が何回も説明したように、湖で水鳥がチ、チ、チ、チ、チッと騒いでグワーツとなっているけれども、一羽の鳥が南方に向かっていけば、こうクルクルクルクル回りながら、スーッと皆、行くから、だから、そういうふうに「愛の心を徹底的に磨く」ようにしていけば、「愛とは何か」と。そういうふうな「愛」というのは、本当にでっかい意味ですよ。命そのもの。

【参加者】

そういう方向に持っていきたいのですが、どうしても妹は、そういう精神を病んでいる人というのは、スピリチュアルの霊能師とか、そういった過去・未来を見られる、そういう人のところに行きたがる傾向があるみたいで。

【水源師】

それはね、宝くじ当てようとしているわけ。それで「ショートカットして、すぐ治りたい」という助けを求めているから、今やることは「強烈な愛の力を燃やせば、その炎の中で、それがどんどん取れて行きます」から。それで「自然に仲間に入りたい」と、「暖かい中に入りたい」と。

【参加者】

青森県にテレビで有名な某霊能者の人がいて「そこに行きたい」と。

【水源師】

やめなさい。青森、知っているから。

【参加者】

行っちゃったのですよ。母親と二人で妹が行ったら「愚か者が愚か者の親の元に生まれてきた」とか「もう一切あなたは愚か者だ」と、人の話も聞かないから、全部、見抜かれて、ボロクソ言われて帰ってきたという（笑）。

【水源師】

みんな愚か者だからね、私も。それは正しいね。傷ついた人間に塩を塗ったらダメなのよ。それはちゃんと塩を取って、ちゃんと処理して包帯巻いて、暖かく包帯の力とか、そういうふうにやったら、だんだん治っていくのだけれども。

【参加者】

そこに行く前に、そういう人の本を読んで、すごく信じ込んで信頼して、そして行って返り血を浴びて（笑）落ち込んじゃってとか、他も拒絶みたいな感じになって。

【水源師】

だから、霊能者に私は「やめなさい」って。「人をそういうふうに救うのは、あなたがまた大変な天罰を受けるから、お金も取っちゃダメ、やめなさい」と、「まず瞑想しなさい」と。霊能者自体がほとんどおかしくなってしまうからね。そうやっていたら。

【参加者】

私も「すべての日本の霊能者は、何かちょっと違うな」というふうな感じを。

【水源師】

霊能者というのは、ほとんどが合宿で見たように、霊が入っていて、いるわけ。ほとんどが幽霊（餓鬼）なのです。幽霊は寂しいわけ。「家族死んじゃった、両親誰もいない、友達行っちゃった、私こころ一人」と。寂しいからピツタリくっ付くと。そういうケースがほとんどだと思う。第一天界の方はちょっと違う、楽しいから、そんなことはしないけれど。善い幽霊もいるのだけれども、結局そういうふうな暗い方に走っていく。逆に善いことをして助けた幽霊は天界に上がったたり、人間界に生まれるけれども。「まずやめなさい」と言ったでしょう？ 私すぐ見て分かる、「これはダメだ」と。ほとんどいないから、青森、私、知っているのですよ（笑）。ところが、みんなショートカットが大好きで「宝くじ当たろう」と思って、すぐはないのだから。

お釈迦様は「医王」という「医の王様」。これほどすごい名医はないわけ。その教えの方が一番正解だと私は思います。それでも、ある人が医王の弟子で私が最高だって、これも検証しなければいけないわけ。幽霊が出たらポーンと取ったり、身体が悪かったら本当に治すとか、法も説かなければいけないし、それも自分の原曲で自分の言葉で、コピーではなく。コピーで「誰誰それ」、ちょっとそれはおかしい。なぜかといったら、原曲でしか言葉は出ない

から。モーツァルトがベートーヴェンの曲をちょっとやったら、おかしいでしょう？

ところが、もう UN (United Nations : 国際連合) でも、どこでも「他の誰それ誰それ」って、これ皆、偽物なのよ！ だから、原曲はパキスタンの女の子が撃たれて「全ての子どもに鉛筆とノートを与えてください」と言ったら、それに対抗する真実の言葉が一つもない、これが原曲なのです。

でも、中には善い霊能者もいるわけ。「人を本当に助けよう」と。そういう人たちはほとんど貧しい。名が売れている人は、ちょっと気を付けなければ。そこの違いがあります。本当の霊能者は、お坊さんみたいに貧しく、タダで一切お金も受け取らないような、そういう行者を見ました。

【参加者】

一人そういう人がいましたが、神通の力があるみたいで、そちらの方へ溺れていってしまったみたいで。

【水源師】

そうそう、そこで頭でっかちになって結局、倒れるから、「本当の愛を磨く」には、そういうことはできないのですよ。女の人が真実に愛してくれたら、やはり傷つけてはいけません。しょう？ そこで愛が芽生えていくから。

結局「物質、物質」になったら、魔の力が入ってくるわけ。だから、銀行でも「物質、物質」で「お金、お金」でしょう？ 今、世界がおかしくなっている。そうでなければ、戦争でパワーパワーでボン、ボン、ボン、ボン、これも物質の方の世界になるから。「本当に心から愛し合う」というのは、何も悪いことではない。また「オウム真理教の間違いを誰も見つけ出さなかった」ということに、そのとき、私は驚愕していたわけ。この日本で誰も修行していなかったわけ。修行した人はすぐ観えるよ、「これおかしい！」と。特に日本は仏教の国で、誰一人として懇切丁寧に、こうではないですよ。「こうこうこう」という人が出なかったことについて「まさか」と！

それで、これは外国の手法なのです。これは日本にはないのです。こうして瞑想させないようにして潰しに来るわけ。瞑想させなかったら、今度は頭がないから、外国の悪の手の内だからね。できないようにさせると。ということまで、本当は、政治家は見なければダメなのです。毛の生えたこんな私でも、外国にいるから、もう観えてしまうわけ、「あれーおかしいな」と。精神界を潰しに来ているわけです。仏教が一番真実を持っているのだけれども、こういうふうな真実を書いてなくても、お釈迦様の言葉ですごい力があるからね。それで、今度これを使ってグーッと曲げられた場合には、すごく悪い方向に行って壊滅状態に発しようとして、結局こういう状態になって、頼るところは霊能者とか、南米でもどこでも、もういっぱいいっぱい。日本だけではない。「本当の法を伝えないように、伝えないように」として機械化しているから。この世の今、サイクルとなっているから。

それで 2012 年 12 月 21 日以降は、なかなか精神界に入れないから、その前に「瞑想をたくさんしてください」と、「船が出てしまってから乗ろうとしても、なかなか難しいですよ」と。

ところが、皆さんその前からやっているものだから、こうして来ているけれども、今できることはカラオケで精神の歌とか、何とかごまかして持っていくしかないね。ジャズでも何でもワーンと仏教に持っていくしかない。ワイワイワイワイって(笑)。それがタイでやっているのですね。そこには何かもう何万人という人たちが集まるって。何か舞台をつくってね、そして、子どもがブッダの歌を歌いながら、劇場にサーッとサーチライトから何からして、観客はずーっとお経を聞きながら、すごいいいらしいですよ、ダンマカヤとか言っていましたね。そして、比丘をたくさん台において、じーっと瞑想させてね、そうしたら「アー素晴らしい！」と。これでもよいわけですよ。ゼロよりはどんなによいか。そうでなければ、みんな逃げちゃうよ、説法説法で難しい。

だから、新しい時代は、こういうふうにして、どんどんどんどんマイケル・ジャクソンくらの仏教のそういう人が出てくれなければ、若い人は困るわけなのです。それが「真剣、何だかんだ」と、頭痛くて、それでなくても会社で頭痛いのに、何かもうお酒飲むか、カラオケ行くか、ま、それよりもこういう精神界の「アー、お釈迦様というすごい方がいるのだ」と。そういうふうには誰か持っていかなければダメなわけよ。だから、私の弟子が「先生、是非タイに行って、これ見てください」というわけ。「まあまあ」と、時間なかったしね。「すごいですよ、これいいです」と。

【参加者】

そういう霊能力者の書いた本を読んでも、仏教の法には全く触れてはいないのですよね。

【水源師】

そうです。だからもうオペラでも何でもよいから、そういうふうなところでアーンと楽しんで、そこから「アーお釈迦様、仏法を」というふうにして、今は持っていくしかないと思うよ。歌舞伎でも何でもよいから、「人の心をつかむように」。「本当に知りたい知りたい」と。それをこう坐らせて体験だと逃げ出しちゃう、そのときだけで、もうやめたと。

色が変化していく数珠

【参加者】

仕事とか何かいろいろとあったときに「何かちょっと自分を守るようなものが欲しいな」という感覚があって、お数珠とか水晶とか買って持っているのですけれども、何となく違和感がなくて悪くはない気がして持っているのですけれども、こういうお坊様がお数珠を持ったりとか、水晶だとかありますけれど、仏教の中でどういう意味があるのでしょうか。

【水源師】

あります。私はお寺参りをするのが好きだから、たくさんのすごい善いお寺、中国にしろインドにしろ韓国にしろ日本にしろ、もう南伝にしろ、ずうっと回ったわけ。回りながら、お経を唱えて。そうしたら、その数珠は離せないくらい何かピッタリと。それで、その数珠

はあげたけれども、非常に困った方がいて「はい」と。やはり効果があつてすうっと。やはり聖地で持って行って、ずうっと善いエネルギー体がくっつくみたいな、自分の善いと思つた心がくっついて、ドンドン進化して行って、ピカピカピカピカ光り始めるのね、色も変わってくる。

【参加者】

先生に最初、見せていただいたベージュの普通のお数珠だったのですが、あずき色というか、こういう色に変わっていたことがあって、同じお数珠ということで非常にびっくりしました。まさしく色が変わっていました。

【水源師】

そういう善い行者が持っているとか、そういうことだと思うし、私もいつもそれを持ちながら、観音様を心に入れて行をしていましたけど。

【参加者】

すみません、このお数珠なのですけれども、左とか右とかどちらが善いとかあるのですか。よく邪気が入らない左というのは聞くのですけれども。

【水源師】

左というのは、人からエネルギーを取られるときにこうするわけ。そうしたら、こうするわけ。そうしたら、ここからエネルギーが出ないから取られないわけ。特に病気がちの人とか苦しい人は、健康とか心の進化した人のそばにずっと来るわけ。自動的に苦しいから取っちゃうわけ。そのときにこう丸めるでしょう？ そうしたら逃げない。ここで止まる。だから左という。左手。左右に付けるとかはあまり関係ないけれど、好きなようにしたらよいけれど、多分そういうことで左と来ているのだと思います。

瞑想合宿に適した場所について

【司会者】

質問ではないですけれども、今回、富士山で合宿をしまして、1泊6000円でやったのですけれども、次回からは5000円ということやってくれるということなのですが、皆さんのご負担を軽くできればなと思って、全国津々浦々、ちょうど真ん中辺がよいのか分らないですが、民宿でも会館でもお寺でも、みんなが寝泊まりできて寝袋とか、お布団があれば、なおよいのですけれども、食事がなければ半断食みたいな感じにして、おかゆとお味噌汁と沢庵とか質素に過ごすのも一つでよいのかなと、一案考えているのですけれども、まだはつきり全然分らないですけれども、そのまま富士山のところでやるかもしれないし、場所が最高10日くらいまで借りれるところがあれば、ちょっと教えていただきたいなど、皆さんに教えていただいて、お食事も安くできればよいし、そういうところが全国必ずどこかあると

思うので、大きなところでしたら、たくさんの方が参加できると思うので、何か情報を教えていただければ幸いです。

【水源師】

ということなのですよ。やはり今そういう若い方がいっぱいいるからね。そういうところに来てもらって、自由な方法で10日間、暮らせば、相当、変わると思います。

【参加者】

場所が優先なのか、値段が優先なのか。

【司会者】

今回は九州からも来られて、昨日の法話会は北海道からも来られて、場所は皆さんで検討してもらうので、場所と値段と、やはり両方ですね。あまり辺鄙（へんび）なところだと困るし、関東でもよいし、名古屋近辺でもよいし、大阪と京都の間とか、逆に長野とかだと環境はよいですし、地理的なことと費用と偏ってもよいので、いろいろな情報を教えていただければ有り難いです。そこから皆さんで選んでいければよいのかと思いますが。

【水源師】

これは若い方々ばかりではなく、今、老人の孤独死というのがあるわけ。私はそれも心配しているわけ。だから、そういう方たちも参加できれば、とても嬉しいわけ。私がとても心が痛いのは、孤独死というのが今どんどん出てきているから、これは社会が非常に悪いからです。そういう中で生きる価値、生きることに目覚めたら、その力が若い人にも及ぶと思うのですよ。特に男性は家でじっと閉じこもるから、とても心配しています。女性ももちろんそうだろうけれど。

【参加者】

地理的な地図で言われているのであれば、「今、世界というのは時間的な地図を優先した方が」、というのはどういうことかと言うと、長野でやる場合は北海道から来る人はもっと遠くなるのですね。九州から来る人も遠い。東京が一番近いのです、時間的には。時間地図で物事は考えた方が、お金の問題を考えれば今LCC（格安航空会社）を使うとか、

【司会者】

そうすると、富士山も悪くないということになりますか。

【参加者】

そういうことです。例えば名古屋で行けば名古屋の中部空港とか使ってやればよいのだけれども、時間地図からすると、東京地図よりは多分、他の所から来る人は遠くなると。例えば富士山とか茨城とか千葉のちょっと外れで安く使えるところが一番良いのではないかと思います。

います。

【司会者】

それでは、今やっている富士山でも悪くないということですね。

【水源師】

あ、そうなのですね。

【司会者】

情報あったら、また教えてください。

慈悲の実践体験—生き物を育てる—

【参加者】

先ほどご指摘があったよう、日本に書いてあることをただ学んでいる状態で、昨年からそういった形で瞑想しながら、できるような体験をしながら、瞑想を進めていっているのですが、やはりどうやっても「慈悲の心」ですね。それにどうしても違和感があるというか、要は「慈悲の瞑想」をやっても、やっぱり「自分を愛する」というか、そういうことが大切なのかなと。本当に実感として「そういうのがわくのかな」と、疑問に思うのですが。

【水源師】

はい、何かペットなどを買われたことはありますか。

【参加者】

飼ったことはあるのですが、今は飼っていません。

【水源師】

花とか何でもよいです。生き物、動物ではなくても。そうしたら、その花を心から育ててみてください。花を心から育てたときに、一体になって、それがメッタ、慈悲になります。そこで、どんどんどんどん深くいったときに成長して行って「もう皆さんにあげざるを得ない」という心が発生してきます。

【参加者】

そのときに何というのでしょうか、花でも何でも。

【水源師】

そう、そのときに実体験。それで、そのときに初めて本当のメッタ（慈悲）が分かるわけ。

【参加者】

そのときに瞑想して、その体験を、その瞑想の中で。

【水源師】

そういう心を願ってやるのだけれども、実際に花でも何でも育てて「本当に嬉しい」と、そういうふうに一体化しているわけです。それがもう究極に行ったら、「もう皆さんに、この喜びを分かち合いたい！」と、誰でも。それが今、言った「慈悲」。その心で行くしかない。だから、それを無理に引き出そうと。これが法になるわけ。心からあげたいと思えば、そのときはもう法をつかんだことになる。

【参加者】

たとえば、電車に乗っていて、それで席を譲りたいと思うのですが、やはり「恥ずかしい」というのと「面倒」というのがあって、そうすると、また自分が傷つくわけですよ、またこんなことをやってしまったと。

【水源師】

いや、それは仕方がない。まあそれは疲れていたら座って、自分が、力があって、例えば立ってあげると、そういうことで、あまり深く考えないように。「本当にこの人は水をやらなければ死んでしまう」という場合には、それはやらなきゃいけないしね。それから「ああ、この人は席を譲らなければ、ぶっ倒れる」と。まあそこまで、大体分かるでしょう？ まあ、それもまた辛いもので「席を譲りたいのに、恥ずかしくて譲れない」とか。そういったことは、あまりゴチャゴチャ考えないように、まあ成り行きです。

【参加者】

頭で考えすぎないで、とにかく体感した方が？

【水源師】

そうです、体験しなければ全部、頭だけになって、頭でっかちになって、よく転ぶから、そういうことです。

法を求めることで浄化される、無我と涅槃—虚空蔵菩薩の奥義—

【参加者】

『般若心経講義』という本に「霊と肉の争い」というのがあったのですけれども、「欲の浄化」というのは難しいので、アドバイスもらえればと思います。

【水源師】

あの今の質問を明快に理解できなかったのですけれども、欲の？

【参加者】

浄化は？

【水源師】

浄化？ それはできます。「欲の浄化」というのは、「本当の法を求める」とときには浄化の方に発展していきます。というのは、法というのは、これといった物質はなく、全てのものにとって幸いなる慈悲の雨を降らすから。ところが、物質的な欲の方向に行ったら、一箇所に集中してしまうブラックホールになってしまうから、それでこれが逆に毒になってしまう、発散できないという。それがアッタ（自我）・アナッタ（無我）になるわけ、自我と無我。

先ほど言ったように、無我の場合は花を本当に好きになって「育てたい」というときにはもう花と一体になっているわけ。そのとき、それを無我の状態ということであって「全てないないない」ではないわけ。そうしたら一切、天国も極楽もない。

結局「涅槃というのはいないない」なのか？違います。究極のヒンズーの教えが虚空蔵菩薩の中に秘められていますから。非常に無量な世界に私たちはいます。だから、本当にゼロと言ったら、本当におかしなことになります。一切、何も発生していません。私たちも実はそこからは一切、発生しない。ところが虚空蔵菩薩という、すごい力によって全て発生していますからね、そこから。あまり究極の世界だから、理論的に言っても分からないし。体験したときだけ分かる。ただ、学術的にはもっと近い、その世界は「Hologram Universe」という学説を書いたロシアの科学者が、そこの本からは、こう映画みたいには分かるけれども、体験ではないからね。

ニミッタ、心は一つ

【参加者】

これも体験でなければ分からないと思うのですが、以前、先生の『法話集』で「瞑想で深く観ていったときに、実は光になった」と。

【水源師】

そうです。

【参加者】

それで「闇というのがない」というのがあったのですが。

【水源師】

全ての物質、ルーパは光を放っています。物質がないときには、光、光だよ、みんな。

【参加者】

影とか闇とか？

【水源師】

その世界は普通の世界の光ではなく、影のない世界。それは難しいのだろうけれども、ニミッタ（丹光、禅相）。禅定に入らなくても、その世界のこと。空間で光が観えるという、そこには影はないです。だから、頭で解説できれば一番よいのだけれども、まああんまり興味本位でもよいので、説明しますけれども、あまり深く考えないように。

【参加者】

質問ではなく、半分お願い・半分希望みたいなものなのですけれども、僕みたいにオタクで、いろいろな英文や日本語の仏教書を読んでいる中で、「本によっては体験に基づかないで知識で捉えて、間違っただけの表記をしているものがある」というお話の中で、英語の本とか、先生がお薦めするレディセヤドールとか、いろいろ出ていますけれど、先生が「これはよいぞ」という、お薦めの本をWEBでアップしていただけると。

【水源師】

そうですね、そのときに独走してもらったら困るわけですね。やっぱり読み砕いて一番よいところを取って、今みたいに読み砕いていくのが、一番よいのではないかと思う。そして、皆さんが紹介していけば、あとはどうしようかな。

【参加者】

先生に訳していただければ一番よいのですが、そんなお時間はないと思いますが。

【水源師】

うん、そうですね。結局、言葉の訳ね。英語と日本語は大体30%か40%訳せない部分があるのです。そうでしょう？ だから、ここを体験で言葉を入れ替えて説明するしかないわけ。特に宗教の場合は全く違う文化で書かれているので、これは体験によって「心は一つ」なのですよ。どの国の方であっても、どういう地位にしろ、どういう環境にしろ、「心は一つ」だから心から見れば解説できるわけ。それを文学的に解説した場合には相当、難しい。そうなのです。まあそこで、なんとかそういうことができたらすごくよいのだけれど、まあ努力してみます。

【参加者】

たくさんの仏典が南伝も北伝もある中で、まあ当然、全部を読むことなんかは、時間もないですし。

【水源師】

そうなのです。

【参加者】

ただ読んだもの、部分だけでも紹介していただければ。

【水源師】

そうですね、私も努力して時間を作ってやってみれば、どうもすみません。

【参加者】

(笑)

現代医学の問題点

【参加者】

昨日、東京法話会に参加させていただいた中で「いろいろ真面目に、この世界のことを勉強しなければいけない」と思い始めるようになりました。先生、次の合宿のときは是非ご指導よろしく願いいたします。ちょうど先生がよく言われる「精神界」というところの方たちなのですが、それと関連するかもしれませんが、精神科医、医者の方ですね。そのレベルの低さと言ってはいけないのですが、病気の案件の多様化、複雑化によって、対応できない精神科医がたくさんいると思うのですね。

【水源師】

います、ほとんどそうです。

【参加者】

よい先生もいると思いますが、言葉は悪いのですが、詐欺的な精神界もいるのですね。

【水源師】

そう、いっぱいいます。

【参加者】

私も知っているのがいて、時々「お前、詐欺だろ？」と言ってからかうのですが、そういうような状況の中で、今、医学界の中で、特に精神科の先生が学ばなければならないことは、たくさんあると思うのですが。

【水源師】

そう。

【参加者】

その中で、先生の言われている仏教のところも含めて、先ほどお話に出ていた「鬱」（うつ）などは全く治らないのですよ。全くは言い過ぎですが、なかなか治らない。例えば「強迫神経症」（強迫性障害）というのが、どういう原因でなっているのか、治らない。そういう問題は結構あって、ちょっとその辺のところメスを入れていかないと、この世界崩壊して行くのではないかと、という気がしているのですが。まあ精神科医は頭のよい人ばかりですから、その人たちに突っ込むということは、さらさらないので、もう少し違う方法で、いわゆる「顧客」「病人」の方々への対応をちゃんとしてほしいなど。

これは先生に問題提起なのですからけれども、そういう人たちにお話ししていただけるような機会があればいいな、と思うのですけれども。

【水源師】

あの実は私もそういう人たちに手を差し伸べたいのですよ。まずやることは、そういう鬱の人とかと一緒に暮らして善い結果がどんどん出ていけば、「ああ、これはどうして治るのか」ということに、精神界の方も目を向けると思う。それで、どんどん結果が善くなっていけば、両親も喜ぶし、周りの人もどんどん来ると思います。そして、その人たちも今度は真剣に学ぼうとか。精神界の人も、これこそ本当に実際に役に立つということであるから、イキイキとしていきます。

今の医学界はちゃんとルールがあるわけです、「これさえやっちゃえば、絶対に罰則は受けない」という。「間違ってもよい、殺してもよい」という教科書を渡されるわけ。そこが、問題があるのですけれども、結局、私みたいに結果を出していけば、先生方も「そういうものに捉われずに考えてみましょう」ということになる。今そういうふうによーロッパでも起こって結果が出ています。

ただ私が注意したのは、あまりにも体験なくして曲げているから。これは破綻します。その「慈悲の瞑想」を深いところまで体験しないで、やらせているところに問題がある。ただやっている方法は間違いありません。指導する人間が、そういうところにあるものだから、それで私は、そのフランス人に注意したのだけれども、理解してくれたらよいと思うけれども。彼はすごい哲学を持ってパラパラっていくけれども、本質を見抜いていないからね。だけど今、言ったようなことは非常に大切で、もうこれしか手はないみたいです。

【参加者】

フロリダ州立大学の先生だったと思うのですが、医学部を出て、いわゆる本人は医学部出身の心理学者で、その人がいわゆる「過去世などを見ることによって治していく」という方法を広めている人もいるみたいなのですが。それがどうこうという気持ちはさらさらないので、やはり今、世の中が乱れてきていると言ってよいか分かりませんが、やはり精神界が荒れてきていると思っていますので、そのところは宗教でしか入っていけないところ、宗教が一番、入っていける近道だと思うので、そのところは是非お願いしたいと思います。

【水源師】

そうですね、私も結局、人間として生まれて、美味しいものを食べて、ちょっと心が痛いから。だから「今こうして随分と私はよい思いばかりして」と思われているかも知れない。日本ではみんな苦勞して必死に働いて、挙げ句の果てに「もうどうしようか」と言っているのに、私は外国でサッサッサーとやって（笑）。

【参加者】

（笑）

【水源師】

スイ、スイ、スイって生きているように見られるのだけれども（笑）。実はそうではないのだけれども、今でも体を使って働いて。それで今、思ったことは、私の課題でもあると思います。それで、やはりカナダでもお医者さんが来ていますので、そのお医者さん、はっきり言っています、「救えません」と。「私たちがやっているのは分類学で」と。だから、彼らの疑問にしたって「こういうことをやりたくない」「本当は人を救いたい」と、全くお医者さん自身も悩んでいるわけ。

【参加者】

ええ、ぜひその辺のところは。

【水源師】

そうですね、私からしたら一切の宗教というのは壁がないから。ただ心だけ進化してもらえればよいわけなのです。というのは、これは宇宙の本体であるからね。あとの分類は、そのカルチャーとか伝統とかによって付けられるのだけれども、本体は一つも変わらないわけ。

なぜかといったら、ユダヤ教の神が最後にアダムに与えた言葉は「人間は悪しきこと・善きことを分かる生き物である」¹と、クサラ（善）・アクサラ（不善）。『清浄道論』の中樞を言っているわけ。これを近年において、誰も実践していないわけ。過去にはやっていたわけです。だから、アブラハムとかモーセとか出てくるわけ。そのときは手法があったと思います。それで「昔はユダヤの方は瞑想ばかりしていた」と。シナゴグというところは教会というふうに書かれているけれども、本来は「瞑想の場所」だけれども、今は行っても誰も瞑想をしていないと。

それで、その方たちは私のところに来ているわけです。それで、その人の旦那さんは世界的な天才的な数学者なわけ。初めはもう全然やる気がしなかったけれど、今では最も熱心に瞑想をしています。なぜなら、どんどん気持ちが善い方向に変化していくから。というのは、その方たちとやはり一緒に坐ってあげるわけ。そうしたら「あらっ」と。そういう方たちは

¹『水源禅師法話集』第23巻「善と悪」（4頁）参照。

心を観るもので、分類学にない変化が起こるわけ。「あら何だろう」と思って、ものすごく好きになって、ものすごく熱心になっていきますよ。そういうことをカナダでやっています。だから、仏教の言葉で教えないで瞑想だけ教えている。それで、その中で到達したわけですね。もう喜びがものすごくわいて、全てを捧げたくて、「この愛をみんなに与えたい！」というところまで行ったわけ。これはもう大丈夫。

【参加者】

ありがとうございます。

【水源師】

まあ、先生も協力していただければ、そっちの方で、私もなんとか喜んで。やはり本当に私たちは「いかにして人のために心を進化させようか」と。この時空から移るときに、それはもうすごい「パーラミー」「波羅蜜」「高德」というかね、最高のことだと思います。ありがとうございます。皆様ご苦労様です。

待っていただいて、こうしてパオセヤドーが言っていたけれど、「1000人いれば1人だけ」なので、本当に聞いてくれる人は。ところが、皆さんは全員、全部、聞いているから。だから、私はこの2日間で何万人という人に聞いていただいた、ということになりますから（笑）。ありがとうございます。



水源禅師がクティから撮影された満月
(日本時間 2014年7月12日撮影)

水源禪師法話集 28
(2013年10月20日 東京法話会)

2014年11月27日 発行

編集兼発行 一乗会